

# 希望の未来へ！あなたと市政のかけ橋に すずらんジャーナル



船橋市議会議員

はしもと 和子

2022年 第69号

市民相談はお気軽に

090-5574-9079

発行 橋本 和子

## 令和4年度一般会計補正予算から

物価高騰対策応援事業

子育て世帯等に対し、1世帯当たり、10枚のお米券を配布

- \*令和3年度・4年度の非課税世帯
- \*18歳までの子ども(平成17年4月1日生まれまで)がいる世帯
- \*29歳以下の単身世帯(平成6年4月1日生まれまで)
- \*令和4年度均等割課税世帯
- \*令和4年9月1日時点で船橋市に住民登録がある世帯

事前案内通知が送られ、その後お米券が送付されます。

ありがとう



©KOMEITO

農業生産安定化事業

販売農家に対し、令和3年分の肥料費の35%、諸材料費の30%を補助



©NEW KOMEITO

- \*農業収入が50万円以上の販売農家であり、今後も継続して市内で農業を営む意思を有する
- \*申請時において、国及び県の補助を受けていないこと

畜産農家に対し、乳牛及び採卵鶏に対し、支援金を給付

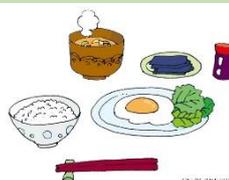


©NEW KOMEITO

- \*令和4年10月1日時点で飼育している
- \*乳牛……1頭5,000円
- \*採卵鶏……1羽62円
- \*今後も継続して市内で農業を営む意思を有する

情報システム関連運営費

第3子以降学校給食費無償化対応



©NEW KOMEITO



©NEW KOMEITO

- \*多子世帯の経済的負担を軽減するため、第3子以降給食費無償化を実施
- \*保護者が子を3人以上扶養し、1人目の子から数えて3人目以降の児童生徒が対象

## 0歳から18歳まで一貫した支援を！

平成24年第1回定例会で、教育委員会の中に子育て部門が入っている三条市また長岡市のほうに会派で視察に行ってきたことを紹介しながら、初めて、教育委員会の中に子育て部門を入れたらどうか。思い切った組織編成の必要性を取り上げ、その後も、平成25年・28年・29年・30年と何度も取り上げてきました。

いよいよ国が「子ども家庭庁」を来年4月より発足させることが決まりました。子ども政策に係る関係府省の担当部局を統合し、縦割り行政の弊害を打破するためです。新組織では、企画立案・総合調整、成育、支援の3部門を設置し、少子化や子どもの貧困対策、いじめ・虐待防止など幅広い問題解決に取り組みます。

また、現在、警察庁が行っている、児童の性的搾取対策や内閣官房が行っている犯罪対策の政府内の調整役も「子ども家庭庁」に一本化されます。

今後どのように取り組んでいくのか松戸市長に伺いました。

子ども家庭庁は「常にこどもの最善の利益を第一に考え、子どもに対する取組・政策を我が国の真ん中に据えて、子どもの権利を保障し、子どもを誰一人取り残さず、健やかな成長を社会全体で後押しをする」という基本理念が示され、将来を担う子どもたちを育むうえで、国においても連携強化が行われ、大きな期待を寄せている。

本市においては、児童相談所の設置という大きな転機を迎えている、子どもと家庭をめぐる様々な課題に対応するための体制や施策について検討して、切れ目のない支援ができるように取り組んでいく。

市児童相談所を設置  
(令和8年度開設予定)

船橋の全ての子どもの安全で安心な生活を守り、健やかな成長と発達を切れ目なく支援する拠点  
(JR南船橋駅南口にある市有地に建設)



©NEW KOMEITO

船橋市の子ども達のために設置するという事です。県が設置するとなると、船橋市だけでなく、市外からも受け入れるわけですが、船橋市が設置するので、本市の子ども達のために取り組むことができるわけです。

家庭児童相談室も入るという事ですので、予防の観点からも学校と連携をし、子ども達の見守りにも力を入れていただける事を期待しています。



©NEW KOMEITO

©NEW KOMEITO

# システムで一元化を

子どもの貧困対策から考えると、子どもたちの学力・体力・生活状況など、それぞれが持っているデータを一括管理することで、子どもたちが抱えるハンディ、例えば、低学力・不十分な衣食住・虐待やネグレクト・低い自己肯定感・孤立などを打ち破る強さを身につけられるように、支援していくことが、重要です。

戸田市のような「総合教育データベース」や箕面市のような「子ども見守りシステム」を導入すべきと考えます。

様々な機関が支援の必要な児童の家庭や学校での情報を共有し包括的に支援していけることと、その支援を継続することが重要と考えている。

システムを連携させ、データを共有することで、それぞれの機関の支援者が複数の情報をタイムラグなく情報共有できる点に利点があると考えますが、システムの導入には、多額の経費を要するだけでなく、制度的な課題があると考えます。

## 戸田市の「教育総合データベース」

不登校が顕在化する前からSOSを発信している可能性があるため、そうした傾向をデータ連携・分析することにより、早期発見、対応につなげ、さらには、データを共有することで貧困・虐待等の困難を有する子どもや家庭への支援につなげています。



## 箕面市の「子ども成長見守りシステム」

『生活困窮判断』『学力判断』『非認知能力等判断』の3つの要素で判定した上で、それらの要素を掛け合わせて『子どもの状態の総合判定』を年2回行い、システムを管理する「子ども成長見守り室」を設置したことにより、現場での「小さな気づき」の情報が入ったり、これまで見過ごされてきた支援が必要な子どもを客観的に見つけることができた。

システムの構築には多額の費用が掛かるのは当然ですが、これだけITが進む中、見過ごされてきたことを教えてくれ、早期発見、早期支援ができると思います。

各課が持っている情報、例えば、生活保護や児童扶養手当・就学援助の受給状況や給食費・放課後ルームの児童育成料の滞納、学校で行っている健診記録、特に虫歯の放置など貧困が起因するケースも多々見受けられます。

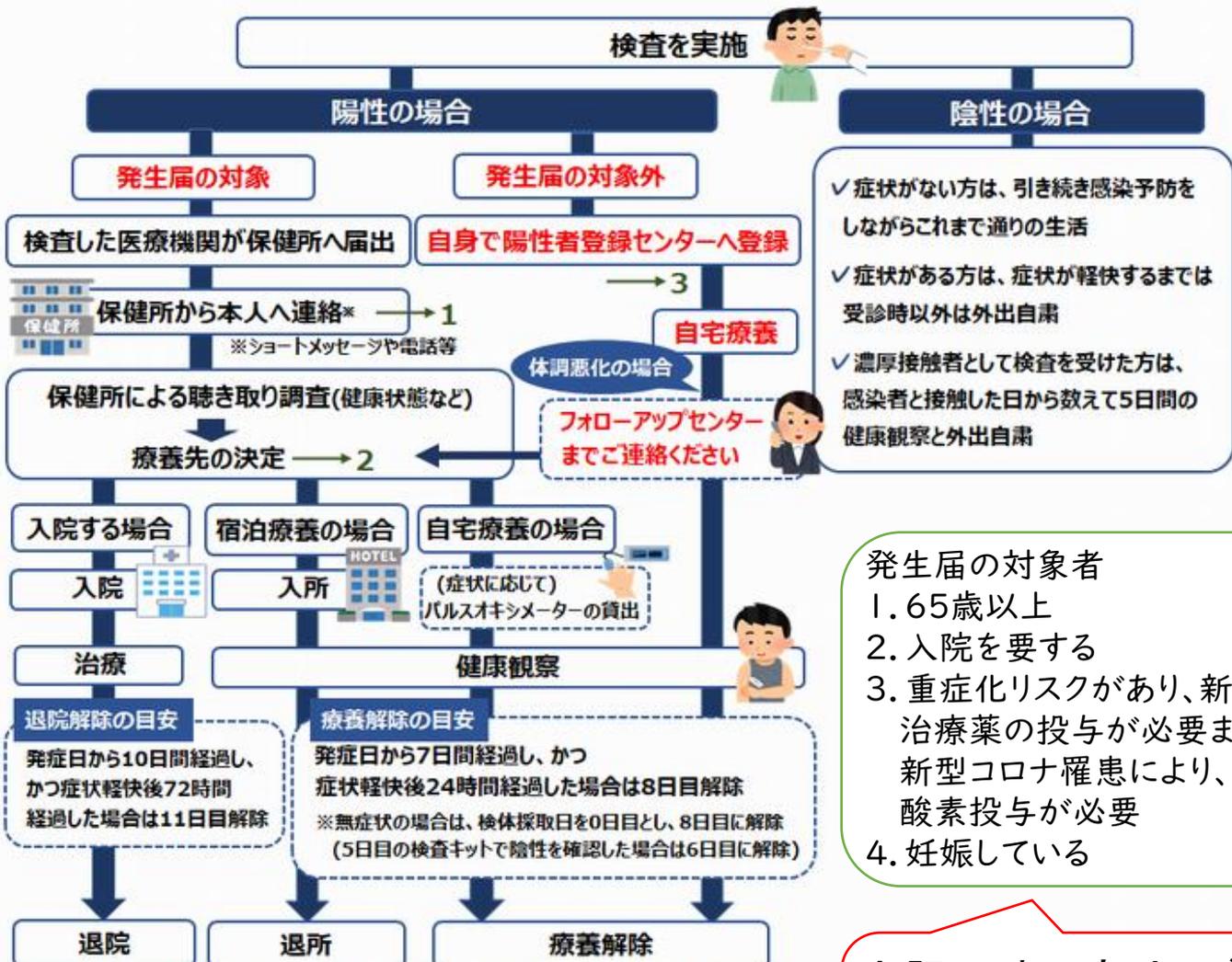
それぞれが持っている情報に横ぐしをさすことで、親の貧困から抜け出せるように支援することができます。その子が社会に出て、収入を得、税金を納めてもらえるようになれば、今後の福祉サービスにかかるお金を減らすことができます。

困っている人に手を差し伸べるのは当然のことですが、これからは予防にも力を入れるべきです。

また、デジタル庁では、こどもに関する各種データの連携による支援実証事業（地方公共団体におけるデータ連携の実証に係る調査研究）の実証事業が行われています。あと数年すれば、システムの構築が必要となることを期待します。

# 新型コロナウイルスに係る検査

令和4年9月26日より、全国一律で発生届の全数届出が見直されました。



(船橋市のHPより) 詳しくはHPをご覧ください

上記以外の方は、ご自分で、陽性者登録センターへ(千葉県HPから)登録してください。

はしもと 和子 090-5574-9079

ホームページ [hashimoto-kazuko.jp](http://hashimoto-kazuko.jp)

市政に関するご意見・ご要望をお寄せください。

S.35年 長野県軽井沢町生まれ 小諸商業高等学校卒業

八十二銀行入行 S.57年より船橋市在住 H.27年より保護司

